



第4次戸田市教育振興計画（案）

※計画期間：
令和3年度～令和7年度



これからの
社会の展望と
教育の方向性

グローバル化や情報化が進み、社会が加速度的に変化していく Society5.0 (※1) の時代を生きる子供たちに必要な力を育めるよう、日本型教育 (※2) のよさも踏まえながら、先進的な取組を推進します。そして、学校・家庭・地域が一体となって、それぞれの役割のもと協力しあい、子供たちを見守り、育てていくまちを目指します。

基本理念

生き生きと 共に育む 教育のまち 戸田

キャッチフレーズ

とだっ子 やり抜く力で 未来に夢を

キャッチフレーズ
について

とだっ子が、学力などの「認知能力」だけでなく、好奇心や自制心、やり抜く力などの「非認知能力」を身に付け、夢や希望を持ち、持続可能な社会の実現に向け、エージェンシー (※3) を備えて21世紀を主体的に生き抜いてほしいとの思いから定めています。やり抜く力は、自ら設定したゴールに向けて、努力し続けることができる力のことで、このような「非認知能力」は、人生の成功に非常に重要であることが諸外国の研究で示されています。

方針1. 子供たちが可能性に挑戦し続ける力を育むための学びの実現

教師の指導力向上や、よりよい教育環境の整備により、日々の授業における新たな学びを推進し、子供たち一人ひとりが複雑で変化の激しい社会を生き抜く力を身に付けることを目指します。

主な施策

- ・授業改善による質の高い授業の実現（主体的、対話的で深い学びやPBL型の学びの実現。脱正解主義、脱自前主義、脱予定調和の学びの推進。）
- ・教師の指導力向上や教科横断的な視点によるカリキュラム・マネジメントの推進
- ・学校のチームとしての組織力向上と働き方改革の推進
- ・ICT環境の整備と、その活用によるハイブリッド型学習 (※4) 等への支援や事務等のデジタル化の推進
- ・学校施設や設備の整備
- ・食育の推進

方針2. 多様性を尊重し、全ての子供たちが力を発揮できるような誰一人取り残さない学びの保障

多様なニーズに丁寧に対応し、きめ細やかな支援を行うことで、子供たちの誰もが未来に夢や希望を持って学びに向かい、就学前を含めた教育をとおして共に成長していく姿の実現を目指します。

主な施策

- ・教育相談体制の充実（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教育アドバイザー、教育相談コーディネーターの配置等）
- ・障害のある児童生徒及びその保護者への支援（特別支援教育コーディネーター等の支援体制の構築）
- ・発達障害の早期発見、早期支援
- ・不登校児童生徒への支援
- ・放課後の学習支援や日本語指導の推進
- ・福祉機関等との連携強化

方針3. 地域・家庭・産官学民などの多様な主体による学びの提供

スポーツや文化芸術活動を含めた生涯学習を推進し、学びたい人が学べる環境の実現を目指します。また、就学前を含めて切れ目なく地域・家庭が子供たちを見守り育てる取組や、産官学民との連携等により、様々な安全な学びの場を提供します。

主な施策

- ・生涯学習活動、リカレント教育の推進
- ・コミュニティ・スクール (※5) 等の地域とともにある学校の推進
- ・国内外姉妹、友好都市と連携した、地域理解や地域交流
- ・スポーツや文化芸術活動の振興
- ・保育園や幼稚園における就学前教育の充実
- ・青少年の居場所の提供
- ・家庭学習の推進
- ・民間の教育力の活用やボランティアとの連携

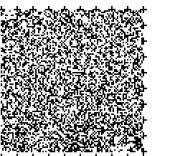
方針4. 個別最適な学びの実現に向けたEBPM (※6) の推進

外部の研究者と連携して最先端の知のリソース (※7) を取り入れながら、データ活用を進めることにより3K（経験・勘・気合い）から脱却し、「教室を科学する」取組の推進、子供たち一人一人の学習状況等に応じた学びの実現を目指します。

主な施策

- ・戸田市教育政策シンクタンク (※8) を中心としたEBPM推進体制の整備
- ・モニタリング指標等に基づく継続的な状況把握
- ・教育活動や政策の効果等に関する研究の推進と研究成果の公表
- ・個人情報保護やコンプライアンス (※9) 確保の取組

(※) PDF版では、主な施策について詳細情報へのリンクを設定しており、各項目をクリックすると、当該事業のホームページ等に遷移します（一部の項目を除く。）。



モニタリング指標

本計画をEBPMの核となるものと位置づけ、データに基づいて実態をとらえ施策を見直していくための手立てとなるような指標として、以下の指標を設定しています。

■主に方針1に関係するもの

- ・全国学力・学習状況調査における平均正答率
- ・埼玉県学力・学習状況調査において学力を伸ばした児童生徒の割合
- ・授業の内容がわかる児童生徒の割合
- ・中学校卒業時の英検3級以上取得率
- ・教職員の在校等時間の状況
- ・授業支援システムの活用ログ
- ・地場食材の活用や食育の取組状況

■主に方針2に関係するもの

- ・障害福祉に係る相談窓口の相談件数
- ・不登校児童生徒の教育機会の確保状況
- ・民間事業者と連携した学習機会の提供回数
(学校内、学校外を会場とするもの)
- ・障害児相談支援利用者数
- ・1歳8か月検診、3歳6か月検診の平均受診率
- ・子育て支援センター利用者数
- ・こども家庭相談の状況

■主に方針3に関係するもの

- ・生涯学習活動を行っている市民の割合
- ・市民大学、公民館講座受講者数
- ・国内外姉妹、友好都市との交流件数
- ・プロ選手・プロ芸術家と触れあえるイベント数
- ・青少年の居場所の実施施設数

■主に方針4に関係するもの

- ・外部研究機関との共同研究の実施状況

【参考1】本計画の位置づけと策定体制

本計画は教育基本法第17条の規定に基づいて策定する、戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。教育改革の基本理念や目標等の大きな方向性を本計画で示し、個別施策の詳細については市ホームページ等に掲載することとしています。なお、関係団体へのアンケート、策定委員会での議論等を経て、本計画を策定しています。

(※) 策定委員会は庁内の以下の部署の所属長等により構成されました(各所属名をクリックすると、各所属の取組の詳細を御覧いただけます。)

- ・教育総務課
- ・学務課
- ・教育政策室
- ・学校給食課
- ・生涯学習課
- ・郷土博物館
- ・協働推進課
- ・文化スポーツ課
- ・障害福祉課
- ・福祉保健センター
- ・こども家庭課
- ・保育幼稚園室
- ・児童青少年課
- ・戸田市立小・中学校校長会

【参考2】用語解説

- (※1) Society5.0(超スマート社会)…狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、新たな社会を指す言葉。技術革新の進展により、今後日本の労働人口の約半数が就いている職業が技術的にはAIやロボットなどに代替できるようになる可能性や、これまでになかった新たな仕事生まれることで、雇用形態や労働市場を大きく変容させる可能性が指摘されています。
- (※2) 日本型教育…学校が学習指導のみならず、生徒指導等の面でも主要な役割を担う全人的な教育であり、様々な場面を通じて、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む教育。
- (※3) エージェンシー…自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力。将来的な目標を見据える力、批判的思考力、現状に疑問を持つ力など。
- (※4) ハイブリッド型学習…対面指導とオンラインを効果的に組み合わせた学習。
- (※5) コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)…保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会を設置し、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べ、学校と保護者や地域の住民が共に知恵を出し合いながら、児童生徒の豊かな成長を支えていく仕組み。
- (※6) EBPM…Evidence-Based Policy Makingの略。客観的な根拠に基づく政策立案のこと。
- (※7) 知のリソース…リソースとは資源や資産を指す言葉。戸田市では産官学と連携し、最先端の知見やシステムを取り入れながら教育改革を進めていきます。
- (※8) 戸田市教育政策シンクタンク…シンクタンクとは様々な領域の専門家を集めた研究機関を指す言葉。戸田市では令和元年6月から、市の教育政策の調査、研究、分析等を所掌する戸田市教育政策シンクタンクを教育委員会内に設置しています。
- (※9) コンプライアンス…法令遵守。戸田市では関係法令や研究倫理にも十分な注意を払いながら、様々な研究に取り組んでいきます。

二次元
コード

本計画の紹介動画はこちら



第3期教育振興基本計画(国)はこちら



第3期埼玉県教育振興基本計画はこちら

二次元
コード

本計画のPDF版はこちら

第4次戸田市教育振興計画

発行・編集：戸田市・戸田市教育委員会 発行年月：令和3年3月 〒335-8588埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号

電話：048-441-1800(代表) FAX：048-443-9033

